

基準 6 教育の成果

(1) 観点ごとの分析

観点 6 - 1 - : 高等専門学校として、その目的に沿った形で、課程に応じて、学生が卒業（修了）時に身に付ける学力や資質・能力、養成する人材像等について、その達成状況を把握・評価するための適切な取組が行われているか。

（観点到係る状況）

[準学士課程]

本校では、上記達成状況を把握・評価するために、準学士課程においては、教務委員会がカリキュラムや成績評価基準の見直しを行い、最終的に、学年末に開催される第1学年から第4学年までの各学年についての修了認定会議及び第5学年の卒業認定会議において、単位修得状況、出欠席状況、特別活動の参加状況、学校行事の参加状況及び進級・卒業状況の確認と認定が、教員参加のもとに校長によって行われている。

特に平成17年度は、教務委員会とFD推進委員会（資料 6 - 1 - - 1）によって、平成18年度準学士課程入学者から適用される混合学級に伴うカリキュラムの見直しが冊子「木更津高専における教育改善 - カリキュラムの見直し - 」にまとめられた。その目次等を（資料 6 - 1 - - 2, 3）に示す。

また、これまで準学士課程の成績評価の合格基準が50点であったため、50点台の科目に対して、専攻科入学後に合格基準が60点の実力認定試験を実施してきた。各学科学系会議の審議を経た後、教務委員会によって平成18年度から準学士課程の成績評価の合格基準が50点から60点に変更された（資料 6 - 1 - - 4）。これにより、準学士課程の学生が卒業時に身につける学力や資質・能力の評価基準について、外部の高等教育機関との整合性が高められた。

[専攻科課程]

専攻科課程においては、専攻科委員会がカリキュラムの見直し等を行い、最終的に、学年末に開催される専攻科の修了認定会議において、単位修得状況、出欠席状況及び進級・修了状況の確認と認定が、教員参加のもとに校長によって行われている。また、実力認定試験の状況については、専攻科委員会において、確認と認定が行われている（資料 6 - 1 - - 5）。

特に平成17年度は、平成18年度からのPBL関連科目及びインターンシップの導入に伴い、専攻科委員会によりカリキュラムの見直しが行われ、前述の冊子「木更津高専における教育改善 - カリキュラムの見直し - 」にまとめられた。

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会規則

○ 木更津工業高等専門学校の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則

(平成15年 6 月12日)

[規 則 第 1 号]

木更津工業高等専門学校の組織及び運営に関する規則(昭和56年 4 月 1 日規則第 1 号)の一部を次のように改正する。

第19条の次に次の 2 条を加える。

(ファカルティ・ディベロップメント推進委員会)

第20条 本校の教育全般に対し、質の保証と向上を図る施策を審議し執行するため、本校にファカルティ・ディベロップメント推進委員会を置く。

2 この委員会の運営その他必要な事項については、別に定める

○ 木更津工業高等専門学校ファカルティ・ディベロップメント推進委員会規則

(平成15年 6 月12日)

[規 則 第 2 号]

(趣旨)

第 1 条 この規則は、木更津工業高等専門学校の組織及び運営に関する規則(昭和56年 4 月 1 日規則第 1 号)第20条第 2 項の規定に基づき、ファカルティ・ディベロップメント推進委員会(以下「委員会」という。)に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議し、執行する。

- ・ 教育プログラムの点検評価と改善に関すること。
- ・ 教員の教育方法及びその他の教育活動の点検評価と改善に関すること。
- ・ 教育環境の点検評価と改善に関すること。
- ・ その他ファカルティ・ディベロップメントに関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- ・ 教務主事
 - ・ 校長が必要と認めた若干名(教務主事補 1 名を含む。)
 - ・ 学生課長
- 2 委員会の委員は、校長が委嘱する。
- 3 第 1 項第 2 項に掲げる委員の任期は、2 年(教務主事補を除く。)とし、再任を妨げない。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、教務主事をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(委員以外の出席)

第 5 条 委員会が必要と認めた場合は、委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を聴取することができる。

(事務)

第 6 条 委員会に関する事務は、学生課において処理する。

(雑則)

第 7 条 この規則に定めるものの外、委員会に関し必要な事項は、委員会の議を経て校長が別に定める。

附 則

この規則は、平成15年 4 月 1 日から施行する。

(出典 庶務課資料)

冊子「木更津高専における教育改善 - カリキュラムの見直し - 」表紙

木更津高専における教育改善

－カリキュラムの見直し－

平成18年3月

木更津工業高等専門学校

(出典 庶務課資料, 現地閲覧資料15)

冊子「木更津高専における教育改善 - カリキュラムの見直し - 」目次

目 次

「カリキュラムの見直し」の発行にあたり	巻頭
まえがき	1
1. 混合学級の導入	3
2. カリキュラムの見直し	3
3. 学則等の見直し	4
教育課程表 準学士課程および専攻科課程	教育課程表 - 1
一般科目および専門科目の説明	
準学士課程：一般科目	一般 - 1
準学士課程：機械工学科	M - 1
準学士課程：電気電子工学科	E - 1
準学士課程：電子制御工学科	D - 1
準学士課程：情報工学科	J - 1
準学士課程：環境都市工学科	C - 1
専攻科課程：共通科目（一般および専門）	共通 - 1
専攻科課程：機械・電子システム工学専攻	ME - 1
専攻科課程：制御・情報システム工学専攻	DJ - 1
専攻科課程：環境建設工学専攻	CC - 1
付表：授業科目の学年配置	付表 - 1

冊子「木更津高専における教育改善 - カリキュラムの見直し - 」5頁
成績の評価

については、木更津高専の状況のみによるのではなく、外部の状況により大局的に判断されるべきであるとの意見が多く出された。これは、高等教育機関における単位認定の合格点は世界的にも60点が標準となっているという現実を受けての判断であるが、将来を見越すならば、カリキュラム改訂と同時に合格点も自主的に改めた方が良いとの結論となった。よって、専攻科に加え、準学士課程の合格点も平成18年度より「60点」に改めることとし、「木更津工業高等専門学校学業成績審査規程」第3条が以下のような記述に改められることとなった。

(成績の評価)

第3条 担当教員は、前期中間・前期末・後期中間・学年末の各試験終了後、100点法によって学業成績を評価し、校長に報告するものとする。

2 前期末及び学年末の評価は、試験の成績、授業の出席状況及び平常の学習態度等を考慮して行うものとする。

3 成績の評価は、100点法によって評価し、次の区分によって評定する。

評 点	100～80	79～70	69～60	59 以下
評 定	A	B	C	D

4 前項において、その授業時間数の3分の1以上欠席した者についての評点は、原則として60点未満とする。

5 授業が年度の途中で終了する授業科目で、評定がDであるものについては、願い出を審査の結果、担当教員が適切な学習指導を行い、学年末に再評価（以下「年度内再評価」という。）をすることができる。また、前項に該当する場合は、願い出を審査の結果、担当教員が適切な学習指導を行ったうえ、補講により授業出席時数の不足を補い、年度内再評価をすることができる。ただし、この年度内再評価は、いずれも最高60点とする。

6 校長は、毎学年末において、各授業科目の学業成績を、評点、評定及び修得単位数によって学生指導要録に記録する。評定Dの授業科目については、修得単位を認めないもの（以下「未修得科目」という。）とする。

以上のことは、カリキュラム改訂と直接的に繋がることではない。しかし、カリキュラムを構成する各授業科目とは密接に繋がるものである。よって、諸業務との並行による日程的な厳しさが予想されたものの、全て平成18年度に併せる形での導入を実現したものである。

実力認定試験の確認と認定

専攻科委員会（平成 17 年度第 14 回）議事要旨（抜粋）

日 時：平成 18 年 3 月 28 日（火）15：10～17：05

場 所：第 2 会議室

出席者： , , , . . . ,
, , , 課長補佐

資 料

1. 前回議事要旨
2. 実力認定試験結果
3. 平成 16 年度専攻科入学者英語力 JABEE 認定結果
4. 平成 17 年度業務実績状況調査と自己評価の検討資料
5. 学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ
6. 平成 18 年度専攻科入学者一覧
7. 平成 17 年度専攻科特別研究ポスター制作・掲示の状況報告
8. 平成 18 年度入学式等日程表
9. 専攻科におけるインターンシップの実施要項（試案）
10. 平成 17 年度電気学会東京支部千葉支所研究発表会資料
11. 平成 17 年度専攻科研究発表補助費支出済み一覧
12. 平成 17 年度第 2 回関東信越地区国立高等専門学校専攻科長連絡会資料
13. 平成 17 年度教育改善：カリキュラム見直しのコンセプトと科目内容（専攻科分）
14. 日本高専学会「論文奨励賞」の創設について
15. 専攻科連絡会（学年末）の配付資料
16. 専攻科修了にあたり原稿執筆のお願い

（出典 専攻科委員会資料）

(分析結果とその根拠理由)

達成状況を把握・評価するために適切な取組が行われている。準学士課程においては、教務委員会、学年末に開催される第1学年から第4学年までの各学年についての修了認定会議及び第5学年の卒業認定会議があり、単位修得状況、出欠席状況、特別活動の参加状況、学校行事の参加状況及び進級・卒業状況の確認、認定が行われている。専攻科課程においては、専攻科委員会と専攻科修了認定会議があり、単位修得状況、出欠席状況、進級・修了状況及び実力認定試験の状況の確認、認定が行われている。

平成17年度は、教務委員会、FD推進委員会及び専攻科委員会によって、カリキュラムの見直しが行われ、冊子「木更津高専における教育改善 - カリキュラムの見直し - 」としてまとめられた。また、平成18年度から準学士課程の成績評価の合格基準が50点から60点に変更され、準学士課程の学生が卒業時に身に付ける学力や資質・能力の評価基準について、外部の高等教育機関との整合性が高められた。

観点6-1-1 : 各学年や卒業(修了)時などにおいて学生が身に付ける学力や資質・能力について、単位取得状況、進級の状況、卒業(修了)時の状況、資格取得の状況等から、あるいは卒業研究、卒業制作などの内容・水準から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況)

[準学士課程]

準学士課程の過去10年間の休学、留年、仮進級及び退学者の各数と学生総数に対する退学者数の割合を(資料6-1-1)に示す。また、平成17年度の各学年各クラスの進級状況を(資料6-1-2)に示す。これらによれば、平成12年度に留年及び仮進級の数がこの集計期間中で最小となり、平成14年度に退学率が最小になること、その後これらが漸増する傾向があること、また、平成17年度の第5学年の休学、留年及び退学者は1名もいないこと等がわかる。退学(積極的進路変更者を含む)の率は特に大きいとはいえず、平成18年度入学生から適用される混合学級による効果も期待され、今後検証してゆく必要がある。

平成13年度より、本校の極めて特徴的な科目として、選択科目「特別学修」(資料6-1-3)が導入された。これにより、多くの学生が外部資格試験(実用英語検定、工業英語検定、TOEIC、ドイツ語検定、漢字検定、危険物取扱者、情報処理技術者、ラジオ・音響検定等)のみにとどまらず、技術イベント活動(ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト)及びボランティア活動(社会福祉)等にも積極的に取り組むことができるようになった(資料6-1-4)。

また、本校のもう一つの特徴的な科目である第3学年の通年必修科目「一般特別研究」においては、一般科目担当教員の約15名が示すテーマごとに、この学年の学生約200名を希望に従って配属させ、小人数の課題研究を実施している。最後に全員が一般特別研究論文(現地閲覧資料16)としてまとめ、3月に行われる一般特別研究発表会(資料6-1-5)で、会場等の制約の許す限り多くの学生にパワーポイントを用いて発表させ、プレゼンテーション能力の向上に役立てている。なお、この一般特別研究については、本校より『探究心に火をつける-授業「特別研究」の挑戦-』(木更津高専一般教育研究会編、学術図書出版社)(現地閲覧資料7)としてまとめられ刊行されている。

卒業研究では、研究の結果を卒業研究論文(現地閲覧資料17)としてまとめ、卒業研究発表会(資料6-1-6)で全員が発表している。

[専攻科課程]

専攻科課程の特別研究においては、研究の結果を特別研究論文(現地閲覧資料18)としてまとめ、3月に行われる特別研究発表会(資料6-1-7,8)で全員が発表している。修了時には、大学評価・学位授与機構による審査を受け、学士の学位を取得するが、これまでの4回の修了生のうち2名を除いて学士が認定されている。

なお、準学士課程及び専攻科課程の学生による研究のうちで、日本機械学会、計測自動制御学会、精密工学会、軽金属学会、日本福祉工学会、日本カイロプラクティック徒手医学会、日本高専学会等で発表されたものの一部を(資料6-1-9)に示す。また、外部のコンテスト等で受賞や表彰を受けるものもあり、それらを(資料6-1-10)に示す。なお、準学士課程と専攻科課程の最近の進学・就職先一覧を学校要覧2005(資料6-1-11)の引用により示す。

資料6 - 1 - - 1

準学士課程の過去10年間の休学，留年，仮進級及び退学者の各数と退学率

異動事項	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
休学	9	4	8	6	6	5	6	7	5	6
留年	30	24	13	21	9	15	18	21	26	23
仮進	17	16	9	12	6	14	10	13	16	27
退学(a)	24	34	32	27	22	18	16	18	20	24
学生総数(b)	1022	1013	1003	1004	1006	1042	1063	1070	1071	1060
退学率(a/b)(%)	2.3%	3.4%	3.2%	2.7%	2.2%	1.7%	1.5%	1.7%	1.9%	2.3%

休学：休学により原級に留まった者の数

留年：成績不振により原級に留まった者の数

仮進：仮進級者の数

退学：退学、除籍、転学などにより学籍を失ったものの総数

(出典 学生課資料)

資料6 - 1 - - 2

平成17年度の各学年各クラスの進級状況

平成17年度進級状況

平成18年3月31日

		M	E	D	J	C	小計		計	
1	休学:退学(内数)						0	0	0	
	留年:退学(内数)				1		1	0	1	
	仮進:留年(内数)	1	1	1			3	0	3	
	退学:退学合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	休学:退学(内数)				2	2	2	2	0	
	留年:退学(内数)		2	2	1	1	6	2	4	
	仮進:留年(内数)	5	3	6	3	7	24	0	24	
	退学:退学合計	0	2	0	2	0	0	4	4	
3	休学:退学(内数)	1	1	4	3	1	7	6	1	
	留年:退学(内数)	1	1	5	3	3	17	8	9	
	退学:退学合計	2	4	6	1	5	4	18	18	
	休学:退学(内数)			3	1	2	6	1	5	
4	留年:退学(内数)	1		7	1		10	1	9	
	退学:退学合計	0	2	0	0	0	0	2	2	
	休学:退学(内数)						0	0	0	
	留年:退学(内数)						0	0	0	
計	退学:退学合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
	休学:退学(内数)	1	1	7	4	3	15	9	6	
	留年:退学(内数)	2	1	14	6	4	34	11	23	
	仮進:留年(内数)	6	0	4	0	7	27	0	27	
退学:退学合計	2	4	0	10	1	4	24	24		

- ・「休学：退学（内数）」は「休学により原級に留まった者の数：その内の退学者数(a)」を表す。
- ・「留年：退学（内数）」は「成績不振により原級に留まった者の数：その内の退学者数(b)」を表す。
- ・「仮進：留年（内数）」は「仮進級者の数：その内の留年者数」を表す。
- ・「退学：退学合計」は、「上記(a)と(b)以外の退学者数(c)：(a)+(b)+(c)」を表す。

(出典 学生課資料)

科目「特別学修」の案内文

1-12 特別学修

本校では、平成 13 年度より特別学修という科目が開設されています。この科目は他の一般的な科目とは大きく異なる部分もあるため、これらの履修方法等について以下に示します。

(1) 特別学修の区分及び内容

特別学修とは、選択科目として、一般科目と専門科目の両方に開設された授業科目です。

履修数に上限はありませんが、一般及び専門の特別学修と、本校以外の教育施設における学修（1-13 参照）を合わせて最大 10 単位までが、選択科目としての扱いを受けます。

なお、これらの内容については、次の①～④に分類されますが、個々の詳細については、教育課程表（1-17 参照）中の特別学修一覧表及びシラバスを参照してください。

- ① 技能審査・資格検査等
- ② ロボコンなどの創造的活動
- ③ 教育支援活動
- ④ ボランティア活動

(2) 履修形態及び単位修得方法

授業時間：原則として、火・木曜日の 7・8 時限に実施する。ただし、ロボコン等、規定の時間外にも実施されるものが多いため、各科目のシラバスで確認すること。

履修登録：原則として、4 月末日までにシラバスに記載された指導教員のところに行き、指示を仰ぐこと。

（出典 平成 17 年度学生便覧 7～8 頁）

資料 6 - 1 - - 4 (1 / 4)

平成17年度 特別学修による単位認定一覧 (第 1 学年 ~ 第 4 学年 , 第 5 学年)
(第 1 学年 ~ 第 4 学年 , 1 / 3)

数	科	年	学籍番号	氏 名	表記(項目分野試験名等:合格級等)	合格等年月日	評価	評語	単位数	一般/専門	備考(認定省庁・代替等)	
1	M	1	**-.***		工業英検	4 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
2	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
3	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
4	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
5	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
6	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
7	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
8	E	1	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
9	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
10	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
11	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
12	E	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
13	D	1	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
14	D	1	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
15	D	1	**-.***		漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
16	D	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
17	D	1	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
18	D	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
19	D	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
20	D	1	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
21	D	1	**-.***		実用英検	準 2 級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
22	D	1	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
23	D	1	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
24	J	1	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.13	90	A	1	一般	指導教員:丸山
25	J	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
26	J	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
27	C	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
28	C	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
29	C	1	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
30	M	2	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
31	M	2	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
32	M	2	**-.***		工業英検	4 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
33	M	2	**-.***		漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
34	M	2	**-.***		漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
35	E	2	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
36	E	2	**-.***		実用英検	準 2 級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
37	E	2	**-.***		実用英検	準 2 級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
38	E	2	**-.***		実用英検	準 2 級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
39	D	2	**-.***		工業英検	4 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
40	D	2	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
41	D	2	**-.***		工業英検	4 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
42	D	2	**-.***		実用英検	2 級	17.7.15	90	A	2	一般	文部科学省
43	D	2	**-.***		実用英検	準 2 級	17.7.15	90	A	1	一般	2 級合格による同時認定
44	D	2	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
45	D	2	**-.***		工業英検	4 級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
46	D	2	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
47	D	2	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
48	D	2	**-.***		工業英検	4 級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
49	D	2	**-.***		実用英検	準 2 級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
50	D	2	**-.***		技術イベント活動	ロボコン	18.2.27	85	A	1	一般	指導教員:鶴田
51	J	2	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.13	90	A	1	一般	指導教員:丸山
52	J	2	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.13	90	A	1	一般	指導教員:丸山
53	J	2	**-.***		実用英検	準 2 級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
54	J	2	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.13	90	A	1	一般	指導教員:丸山
55	J	2	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
56	J	2	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.13	90	A	1	一般	指導教員:丸山
57	J	2	**-.***		漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
58	J	2	**-.***		工業英検	4 級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
59	C	2	**-.***		実用英検	準 2 級	17.7.15	90	A	1	一般	文部科学省
60	M	3	**-.***		危険物取扱者	乙種第 4 類	17.8.1	90	A	1	専門	総務省

(出典 準学士課程 1 年 ~ 4 年の修了認定会議資料)

資料 6 - 1 - - 4 (2 / 4)

平成17年度 特別学修による単位認定一覧 (第 1 学年 ~ 第 4 学年 , 第 5 学年)
(第 1 学年 ~ 第 4 学年 , 2 / 3)

61	M	3	***.***	ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
62	M	3	***.***	ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
63	M	3	***.***	危険物取扱者	乙種第 4 類	17.7.28	90	A	1	専門	総務省
64	M	3	***.***	工業英検	3 級	18.2.6	90	A	2	一般	文部科学省
65	M	3	**.*.*	工業英検	4 級	18.2.6	90	A	1	一般	3 級合格による同時認定
66	M	3	***.***	工業英検	4 級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
67	M	3	***.***	危険物取扱者	乙種第 4 類	17.8.1	90	A	1	専門	総務省
68	M	3	***.***	ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
69	M	3	***.***	ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
70	M	3	**.*.*	工業英検	4 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
71	E	3	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
72	E	3	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
73	E	3	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
74	E	3	**.*.*	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
75	D	3	**.*.*	実用英検	準 2 級	17.2.25	90	A	1	一般	文部科学省
76	D	3	***.***	工業英検	4 級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
77	D	3	***.***	実用英検	2 級	17.7.15	90	A	2	一般	文部科学省
78	D	3	**.*.*	実用英検	準 2 級	17.7.15	90	A	1	一般	2 級合格による同時認定
79	D	3	***.***	実用英検	2 級	17.7.15	90	A	2	一般	文部科学省
80	D	3	**.*.*	実用英検	準 2 級	17.7.15	90	A	1	一般	2 級合格による同時認定
81	D	3	***.***	ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
82	D	3	***.***	ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
83	D	3	**.*.*	実用英検	準 2 級	17.7.15	90	A	1	一般	文部科学省
84	J	3	***.***	工業英検	4 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
85	J	3	**.*.*	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
86	J	3	***.***	技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
87	J	3	***.***	工業英検	4 級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
88	J	3	**.*.*	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
89	J	3	***.***	工業英検	4 級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
90	J	3	**.*.*	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
91	J	3	**.*.*	工業英検	4 級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
92	J	3	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
93	J	3	**.*.*	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
94	C	3	***.***	工業英検	4 級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
95	C	3	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
96	C	3	**.*.*	危険物取扱者	乙種第 4 類	17.12.13	90	A	1	専門	総務省
97	C	3	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
98	C	3	**.*.*	危険物取扱者	乙種第 4 類	17.7.1	90	A	1	専門	総務省
99	C	3	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
100	C	3	**.*.*	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
101	C	3	**.*.*	危険物取扱者	乙種第 4 類	17.12.13	90	A	1	専門	総務省
102	C	3	***.***	危険物取扱者	乙種第 4 類	17.7.1	90	A	1	専門	総務省
103	C	3	**.*.*	TOEIC	初級	17.10.23	80	A	1	一般	担当教員：小澤
104	C	3	***.***	工業英検	4 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
105	C	3	***.***	ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
106	C	3	**.*.*	工業英検	4 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
107	C	3	***.***	危険物取扱者	乙種第 4 類	17.12.13	90	A	1	専門	総務省
108	C	3	**.*.*	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
109	C	3	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
110	C	3	**.*.*	危険物取扱者	乙種第 4 類	17.7.1	90	A	1	専門	総務省
111	C	3	**.*.*	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
112	C	3	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
113	M	4	**.*.*	工業英検	4 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
114	M	4	***.***	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
115	M	4	***.***	TOEIC	中級	18.1.21	90	A	1	一般	担当教員：小澤
116	M	4	**.*.*	TOEIC	初級	18.1.21	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
117	M	4	***.***	TOEIC	初級	17.9.3	80	A	1	一般	担当教員：小澤
118	M	4	***.***	TOEIC	初級	17.9.3	100	A	1	一般	担当教員：小澤
119	M	4	**.*.*	漢字検定	2 級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
120	M	4	***.***	実用英検	2 級	17.11.18	90	A	2	一般	文部科学省
121	M	4	**.*.*	実用英検	準 2 級	17.11.18	90	A	1	一般	2 級合格による同時認定
122	M	4	***.***	教育支援活動	柔道	18.1.25	90	A	1	一般	担当教員：清野

(出典 準学士課程 1 年 ~ 4 年の修了認定会議資料)

資料 6 - 1 - - 4 (3 / 4)

平成17年度 特別学修による単位認定一覧 (第 1 学年 ~ 第 4 学年 , 第 5 学年)
(第 1 学年 ~ 第 4 学年 , 3 / 3)

123	M	4	**-.***		TOEIC	上級	17.9.3	100	A	4	一般	担当教員：小澤
124	M	4	**-.***		TOEIC	中級	17.9.3	100	A	1	一般	上級合格による同時認定
125	M	4	**-.***		TOEIC	初級	17.9.3	100	A	1	一般	上級合格による同時認定
126	E	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
127	E	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
128	E	4	**-.***		TOEIC	初級	17.9.3	80	A	1	一般	担当教員：小澤
129	E	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
130	E	4	**-.***		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
131	E	4	**-.***		TOEIC	初級	17.9.3	80	A	1	一般	担当教員：小澤
132	E	4	**-.***		実用英検	準2級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
133	E	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
134	E	4	**-.***		TOEIC	上級	17.9.3	90	A	4	一般	担当教員：小澤
135	E	4	**-.***		TOEIC	中級	17.9.3	100	A	1	一般	上級合格による同時認定
136	E	4	**-.***		TOEIC	初級	17.9.3	100	A	1	一般	上級合格による同時認定
137	D	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
138	D	4	**-.***		情報処理技術者	基本技術	17.11.11	90	A	1	専門	経済産業省
139	D	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
140	D	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
141	D	4	**-.***		TOEIC	初級	18.1.21	80	A	1	一般	担当教員：小澤
142	D	4	**-.***		工業英検	3級	17.6.13	90	A	2	一般	文部科学省
143	D	4	**-.***		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	3級合格による同時認定
144	D	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
145	D	4	**-.***		ドイツ語検定	4級	18.2.15	90	A	1	一般	指導教員：荒木
146	D	4	**-.***		工業英検	3級	18.2.6	90	A	2	一般	文部科学省 (4級既修得)
147	D	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
148	D	4	**-.***		TOEIC	上級	17.9.3	100	A	4	一般	担当教員：小澤
149	D	4	**-.***		TOEIC	中級	17.9.3	100	A	1	一般	上級合格による同時認定
150	D	4	**-.***		TOEIC	初級	17.9.3	100	A	1	一般	上級合格による同時認定
151	D	4	**-.***		TOEIC	上級	17.9.3	100	A	4	一般	担当教員：小澤
152	D	4	**-.***		TOEIC	中級	17.9.3	100	A	1	一般	上級合格による同時認定
153	D	4	**-.***		TOEIC	初級	17.9.3	100	A	1	一般	上級合格による同時認定
154	J	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
155	J	4	**-.***		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
156	J	4	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
157	J	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
158	J	4	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
159	J	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
160	J	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
161	J	4	**-.***		TOEIC	初級	18.1.21	100	A	1	一般	担当教員：小澤
162	J	4	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
163	J	4	**-.***		実用英検	2級	17.2.25	90	A	2	一般	文部科学省 (準2級既修得)
164	J	4	**-.***		TOEIC	初級	18.1.21	90	A	1	一般	担当教員：小澤
165	J	4	**-.***		ドイツ語検定	4級	17.8.5	90	A	1	一般	指導教員：荒木
166	J	4	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
167	J	4	**-.***		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
168	J	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
169	J	4	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
170	J	4	**-.***		ドイツ語検定	4級	17.8.5	90	A	1	一般	指導教員：荒木
171	J	4	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
172	J	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
173	J	4	**-.***		ドイツ語検定	4級	17.8.5	90	A	1	一般	指導教員：荒木
174	J	4	**-.***		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
175	J	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
176	J	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
177	C	4	**-.***		危険物取扱者	乙種第4類	17.12.13	90	A	1	専門	総務省
178	C	4	**-.***		TOEIC	初級	17.5.7	80	A	1	一般	担当教員：小澤
179	C	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
180	C	4	**-.***		危険物取扱者	乙種第4類	17.12.13	90	A	1	専門	総務省
181	C	4	**-.***		漢字検定	2級	17.11.15	90	A	1	一般	文部科学省
182	C	4	**-.***		教育支援活動	柔道	18.1.25	90	A	1	一般	担当教員：清野
183	C	4	**-.***		TOEIC	初級	17.5.7	90	A	1	一般	担当教員：小澤
184	C	4	**-.***		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
185	C	4	**-.***		実用英検	準2級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省

機械工学科 4 年

(**-.***) は、「総合英語演習」に代替希望。

(出典 準学士課程 1 年 ~ 4 年の修了認定会議資料)

資料 6 - 1 - - 4 (4 / 4)

平成17年度 特別学修による単位認定一覧 (第 1 学年 ~ 第 4 学年 , 第 5 学年)
(第 5 学年)

数	科	年	学籍番号	氏 名	表記(項目分野試験名等・合格級等)	合格等年月日	評価	評語	単位数	一般/専門	備考(認定省庁・代替等)	
1	M	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
2	M	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
3	M	5	**_****		工業英検	3級	17.6.13	90	A	2	一般	文部科学省
4	M	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	3級合格による同時認定
5	M	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
6	M	5	**_****		ドイツ語検定	4級	18.2.15	90	A	1	一般	指導教員：荒木
7	M	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
8	M	5	**_****		TOEIC	初級	17.9.3	80	A	1	一般	指導教員：小澤
9	M	5	**_****		TOEIC	初級	17.5.7	90	A	1	一般	指導教員：小澤
10	M	5	**_****		TOEIC	中級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員：小澤
11	M	5	**_****		TOEIC	初級	17.5.7	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
12	M	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
13	M	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
14	M	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
15	M	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
16	M	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
17	M	5	**_****		TOEIC	初級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員：小澤
18	M	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
19	M	5	**_****		危険物取扱者	乙種第4類	17.12.13	90	A	1	専門	総務省
20	M	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
21	M	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
22	E	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
23	E	5	**_****		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
24	E	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
25	E	5	**_****		TOEIC	初級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員：小澤
26	E	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
27	E	5	**_****		デジタル検定	3級	17.6.26	90	A	1	専門	文部科学省
28	E	5	**_****		ラジオ・音響検定	3級	17.11.13	90	A	1	専門	文部科学省
29	E	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
30	E	5	**_****		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
31	E	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
32	E	5	**_****		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
33	E	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
34	E	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
35	E	5	**_****		ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員：高橋
36	E	5	**_****		情報処理技術者	初級ｼﾌﾄ	17.5.16	90	A	1	専門	経済産業省
37	E	5	**_****		TOEIC	初級	17.9.3	80	A	1	一般	指導教員：小澤
38	E	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
39	E	5	**_****		工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
40	D	5	**_****		TOEIC	中級	17.3.27	80	A	1	一般	指導教員：小澤
41	D	5	**_****		TOEIC	初級	17.3.27	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
42	D	5	**_****		TOEIC	初級	18.1.21	90	A	1	一般	指導教員：小澤
43	J	5	**_****		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
44	J	5	**_****		漢字検定	2級	17.7.11	90	A	1	一般	文部科学省
45	J	5	**_****		TOEIC	中級	18.1.21	90	A	1	一般	指導教員：小澤
46	J	5	**_****		TOEIC	初級	18.1.21	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
47	J	5	**_****		情報処理技術者	基本技術	17.5.16	90	A	1	専門	経済産業省
48	J	5	**_****		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
49	J	5	**_****		情報処理技術者	基本技術	17.11.11	90	A	1	専門	経済産業省
50	J	5	**_****		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
51	J	5	**_****		TOEIC	中級	17.11.19	80	A	1	一般	指導教員：小澤
52	J	5	**_****		TOEIC	初級	17.11.19	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
53	J	5	**_****		TOEIC	中級	18.1.21	100	A	1	一般	指導教員：小澤
54	J	5	**_****		TOEIC	初級	18.1.21	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
55	J	5	**_****		工業英検	3級	17.6.13	90	A	2	一般	文部科学省
56	J	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	3級合格による同時認定
57	J	5	**_****		技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員：栗本
58	J	5	**_****		情報処理技術者	初級ｼﾌﾄ	17.5.16	90	A	1	専門	経済産業省
59	C	5	**_****		TOEIC	初級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員：小澤
60	C	5	**_****		実用英検	準2級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
61	C	5	**_****		TOEIC	初級	17.5.7	90	A	1	一般	指導教員：小澤
62	C	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
63	C	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
64	C	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
65	C	5	**_****		TOEIC	初級	17.5.7	90	A	1	一般	指導教員：小澤
66	C	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
67	C	5	**_****		漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
68	C	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
69	C	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
70	C	5	**_****		TOEIC	中級	18.1.21	90	A	1	一般	指導教員：小澤
71	C	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
72	C	5	**_****		実用英検	準2級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
73	C	5	**_****		工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
74	C	5	**_****		TOEIC	初級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員：小澤
75	C	5	**_****		工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省

(出典 準学士課程 5 年の卒業認定会議資料)

一般特別研究発表会抄録集表紙

平成 1 7 年度
一般特別研究発表会
抄録集

平成 1 8 年 3 月 3 日 (金)

第 1 会場：第 1 講義室 第 2 会場：階段教室

一般特別研究発表会実行委員会

(出典 一般特別研究発表会実行委員会資料)

卒業研究発表会抄録集表紙

平成 1 7 年度

卒業研究抄録

木更津工業高等専門学校

(出典 学科資料)

特別研究発表会講演論文集表紙

平成 17 年度 特別研究発表会 講演論文集

平成 18 年 2 月 8 日(水)

木更津工業高等専門学校 専攻科

Kisarazu National College of Technology

Advanced Engineering Courses

(出典 専攻科委員会資料)

資料 6 - 1 - - 8

専攻科特別研究発表会プログラム

平成17年度 専攻科特別研究発表会プログラム (平成18年2月8日開催)

印：プレゼン賞推薦， 賞：表彰

No.	研究 題 目	学生氏名	指導教員	推薦
1	光トポグラフ脳機能計測のためのポジショニングシステムの開発			
2	認知科学的手法を用いた人間の表情認知特性の検討			賞
3	ネットワークマイコンを用いた遠隔操作システムの開発			
4	簡易型アンテナ指向性測定システムの構築			
5	強化学習を用いた知能ロボットの学習制御			賞
6	ネットワークを利用した在室状況把握システムの構築(ソフトウェア)			
7	ロボットマニピュレータの反復学習制御			
8	初心者用プログラミング言語「ビギン」の開発			賞
9	高速パルス伝送技術の検討			
10	セルオートマトン法による都市火災シミュレーション			
11	無線LAN環境におけるPDA用学習支援コンテンツの開発			
12	ネットワークを利用した在室状況把握システムの構築(ハードウェア)			
13	天然ガス採取に伴う深層土の物理的・化学的性質			賞
14	EMセンサーを用いたコンクリート収縮に伴う拘束応力の計測			
15	微細粒子土(ケーキ)を用いた屋上緑化土の検討			
16	小河川における自然復元方法の一提案			
17	河川湾曲部における水制構造物の影響について - 小河川に挿入した効果について -			
18	細骨材のアルカリシリカ反応性簡易推定試験方法の開発			
19	火炎自発光の分光計測に関する研究			
20	バイオカーボンスラリー燃料のディーゼル機関への適用			
21	「ものづくり」を目指した実習用教材の開発			
22	無限長導体円柱による電磁波の散乱の過渡解析			
23	筋肉を疲労した際の重心動揺			
24	In ₂ Se ₃ 多結晶薄膜太陽電池に関する研究			賞
25	射出成形プラスチック歯車の騒音と強度に関する研究			
26	電流センサレスで構成する太陽電池用昇圧コンバータ			
27	固体高分子型燃料電池の効率向上についての研究			
28	交差二円筒の強度に関する研究			賞
29	モアレトポグラフィ法による三次元形状計測装置の開発			
30	最適サーボ系を用いたアクチュエータにむだ時間を有する6足歩行ロボットの姿勢制御			
31	LQG制御による仮想受動関節でモデル化したフレキシブルアームの力と振動制御			
32	超伝導薄膜の抵抗率の計測法について			
33	LC共振を利用した昇圧コンバータ			

(出典 専攻科委員会資料)

準学士課程及び専攻科課程の学生の学協会等での発表状況

(主に機械工学科及び機械・電子システム工学専攻科の機械工学科出身者によるもの)

準学士課程				
No.	氏名	タイトル	発表学会雑誌名等	発表年
1		釣り竿の感度に関する研究	日本機械学会関東支部関東学生会第45回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集	2006
2		高性能模型スターリングエンジンの開発	日本機械学会関東支部関東学生会第45回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集	2005
3		角柱に作用する抗力軽減に関する研究	日本機械学会関東支部関東学生会第45回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集	2005
4		感温磁性体と形状記憶合金を用いた光駆動マシン	日本高専学会第10回総会・研究発表会講演論文集	2004
5		透明物体表面の欠陥検査装置の開発	日本高専学会第10回総会・研究発表会講演論文集	2004
6		回折パターンを用いた工具欠損の非接触測定	日本高専学会第10回総会・研究発表会講演論文集	2004
7		格子パターン投影法による人体の非接触形状計測システムの開発	日本高専学会第10回総会・研究発表会講演論文集	2004
8		実体格子型モアレトポグラフィ法による三次元形状計測システムの開発	日本高専学会第10回総会・研究発表会講演論文集	2004
9		射出成形プラスチックはすば歯車の負荷特性 第5報 雰囲気温度の影響 -	2004年度精密工学会秋季大会学術講演会講演論文集	2004
10		中距離走後の疲労回復に対する大気負イオンの効果	日本福祉工学会第6回学術講演会講演論文集	2003
11		格子パターン投影法による人体の非接触形状計測システムの開発	日本福祉工学会第6回学術講演会講演論文集	2003
12		回折パターンを用いた工具欠損の非接触測定	2003年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集	2003
13		リズムの測定システムの開発	日本機械学会関東支部関東学生会第42回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集	2003
14		リズムの自動測定システムの開発	日本福祉工学会第6回学術講演会講演論文集	2003
15		身体の投てき機能を障害を補完する釣りシステムの開発	日本福祉工学会第6回学術講演会講演論文集	2003
16		数値流体力学における導入教育(第2報:角柱背後に生じるカルマン渦列の可視化)	日本機械学会2003年度年次大会(徳島)講演論文集	2003
17		回折を用いた工具欠損の非接触測定	光計測シンポジウム2002講演論文集	2002
18		数値流体力学における導入教育	日本機械学会関東支部第8期総会講演論文集	2002
19		大迎角を持つ対称放物体背後に生じる剥離渦の可視化計測と熱線データ解析	日本機械学会関東支部関東学生会第41回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集	2002

専攻科課程				
No.	氏名	タイトル	発表学会雑誌名等	発表年
1		LQG制御による仮想受動関節でモデル化したフレキシブルアームの力と振動制御	日本機械学会関東支部第12期総会講演会講演論文集	2006
2		スライディングモード制御を用いた先端が柔軟な2リンクアームの位置と力のハイブリッド制御	日本機械学会関東支部第12期総会講演会講演論文集	2006
3		射出成形プラスチック歯車の騒音と強度に関する研究	2006年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集	2006
4		姿勢と計算成績との関係について	日本カイロプラティック徒手医学会誌	2005
5		モアレトポグラフィ法による三次元形状計測装置の開発	日本福祉工学会第8回学術講演会講演論文集	2005
6		最適サーボ系による仮想受動関節でモデル化したフレキシブルアームの力と振動制御	日本機械学会関東支部第11期総会講演会講演論文集	2005
7		最適サーボ系を用いた油圧アクチュエータのむだ時間を含む6足歩行ロボットの姿勢制御	日本機械学会関東支部第11期総会講演会講演論文集	2005
8		公差二円筒の強度に関する研究(相対すべり速度と軸角の影響)	日本機械学会2005年度年次大会講演論文集Vol.	2005
9		Strength and Noise Life of Injection Molded Plastic Gear Case of Hybridized Material Addition Plastics	ICMR2005AKITA	2005
10		バイオカーボンスラリー燃料のディーゼル機関への適用	第42回燃焼シンポジウム講演論文集	2004
11		7N017NiCu合金のシャルピ-衝撃破断特性に及ぼす鍛造の加工の影響	軽金属学会第107回秋期大会講演概要	2004
12		ヒトのハリス指標としての三角筋の筋力測定	日本高専学会第10回研究発表会	2004
13		姿勢と計算との関係について	日本カイロプラティック徒手医学会第6回学術大会抄録集	2004
14		格子を投影した際のコントラストを用いた樹脂面の質感評価	日本高専学会第10回総会・研究発表会講演論文集	2004
15		格子を投影した際のコントラストを用いた樹脂面の質感評価	光計測シンポジウム2004講演論文集	2004
16		コントラストを用いた樹脂の質感評価(第2報)	2004年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集	2004
17		斜面歩行における6足歩行ロボットの脚機構に関する研究	日本機械学会関東支部第10期総会講演会講演論文集	2004
18		H 制御を用いたフレキシブルアームの力制御	日本機械学会関東支部第10期総会講演会講演論文集	2004
19		パターンを投影した際のコントラストを用いた樹脂面の質感評価	光計測シンポジウム2003講演論文集	2003
20		パターンを投影した際のコントラストを用いた樹脂面の質感評価	2003年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集	2003
21		地雷探知6足歩行ロボットCOMET-IIのスライディングモード姿勢制御	計測自動制御学会第4回システムインテグレーション部門講演会講演論文集	2003
22		スライディングモード制御を用いた6足歩行ロボットの姿勢制御	日本機械学会関東支部第9期総会講演会講演論文集	2003
23		状態フィードバック制御を用いた6足歩行ロボットの姿勢制御	日本機械学会Dynamics and Design Conference 2002講演会	2002

(出典 機械工学科資料)

各種コンテスト等の受賞状況

準学士課程			
No.	受賞者氏名	受賞内容	受賞年度
1	M5	2006年度精密工学会小さなロボットのコンテスト作業マイクロメカニズム部門(有線)技術賞	2006
2	M5	2006年度精密工学会小さなロボットのコンテスト作業マイクロメカニズム部門(無線)第3位	2006
3	M5	2006年度精密工学会小さなロボットのコンテスト自慢のマイクロメカニズム部門アイデア賞	2006
4	E5	平成17年度関東信越地区高等専門学校英語弁論大会スピーチ部門3位	2005
5	J5 他3名	第16回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト敢闘賞	2005
6	D4 他吹奏楽部員	平成17年度吹奏楽コンクール銀賞	2005
7	J4	平成17年度英語弁論大会第1位	2005
8	D2	第19回東洋大学「現代学生百人一首」に入選	2005
9	J5 他10名	第15回 全国高等専門学校 プログラミングコンテスト敢闘賞	2004
10	J5 他4名	第15回 全国高等専門学校 プログラミングコンテスト敢闘賞	2004
11	J3	平成16年度英語弁論大会第3位	2004
12	M5	2003年度精密工学会小さなロボットのコンテスト障害物マイクロメカニズム部門ユーモア賞	2003
13	M5	2003年度精密工学会小さなロボットのコンテスト作業マイクロメカニズム部門奨励賞	2003
14	J5 他7名	第14回 全国高等専門学校 プログラミングコンテスト審査員特別賞	2003
15	M5	2002年度精密工学会小さなロボットのコンテスト作業マイクロメカニズム部門(有線)第3位	2002
16	J5 他4名	第13回 全国高等専門学校 プログラミングコンテスト敢闘賞	2002
17	J5 他3名	第12回 全国高等専門学校 プログラミングコンテスト敢闘賞	2001

専攻科課程			
No.	受賞者氏名	受賞内容	受賞年度
1	ME1	平成17年度電気学会東京支部千葉支所研究発表会優秀論文発表賞	2005

(出典 学科資料)

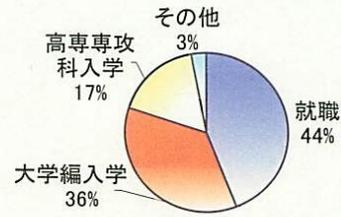
資料 6 - 1 - - 11 (1 / 2)

準学士課程と専攻科課程の最近の進学・就職先一覧

卒業後の進路 EMPLOYMENT AND ENTRANCE INTO UNIVERSITIES

平成16年度卒業生の進路状況(本科) *Graduates of The College*

学 科 Dept. of	卒業者数 Graduate	就職者数 Employed	進学者数 Going to Univ.	その他 Others
機 械 工 学 科 Mechanical Eng.	48	25	21	2
電 気 工 学 科 Electrical Eng.	34	16	17	1
電 子 制 御 工 学 科 Control Eng.	44	11	31	2
情 報 工 学 科 Information Eng.	37	20	17	0
環 境 都 市 工 学 科 Civil Eng.	43	18	24	1
合 計 Total	206	90	110	6



平成16年度卒業生の就職先一覧(本科) *Employment*

学科	機械工学科	電気工学科	電子制御工学科	情報工学科	環境都市工学科
企 業 名	シミズオクト	1 東邦化学工業	1 ニコン	1 NTT AT システムズ	1 トニフォー・ティー・エス
	東レ	1 東京電力	1 日産テクノ	1 H I P	1 ヤフー
	レンゴウ	1 カイト	1 凸版印刷	1 ケンウッド	1 東海旅客鉄道
	J F E スチール	1 ライフネット	1 日本ビクター	1 トミックス	1 フジテック
	日産ディーゼル技術研究所	1 ソフトバンク	1 キヤノン	1 クラリオンシステムハウス	1 セクター
	V S N	1 日本 I B M	1 神鋼電気	1 日立ディスプレイズ	1 成豊建設
	トステム	1 三菱電機ビルテクノサービス	1 日鉄エレックス	1 パイオニア	1 ノザキ精工
	成田エアポートテクノ	1 関東天然瓦斯開発	1 日産ディーゼル技術研究所	1 セコム	1 刈込設計
	J A L 航空機整備成田	1 総合警備保障	1 松下電器産業パナソニックオート	1 日本 I B M	1 国土交通省関東地方整備局
	コスモ石油	1 日本放送協会	1 日本電気システム建設メディアサービス	1 オリパスシステムズ	1 君津住宅
	テレビアルファ	1 三菱プレジジョン	1 オムロンフィールドエンジニアリング	1 ヤフー	1 日東電工
	石川島汎用機サービス	1 ソニーEMCS木更津テック	1	1 横河システムエンジニアリング	1 東京水道サービス
	I H I エアロスペースエンジニアリング	1 日産テクノ	1	1 アイティールシステムズ	1 日本電算機販売
	オムロンフィールドエンジニアリング	1 巴工業	1	1 日立ビジネスソリューション	1 幸徳設計事務所
	オリパス	1 ニコン	1	1 アジル・ラボ	1 第一テクノ
	クリタス	1 道路通信エンジニア	1	1 大崎コンピュータ	1 新日化環境
	セコム			1 レンゴウ	1 カンドー
	シチズン時計	2		1 ハイテックシステム	
	理研	1		1 明治乳業	
	日経総合印刷	1		1 日本放送協会	
	テクモ	1			
	いすゞエンジニアリング	1			
	富士家住宅機材	1			
	三菱重工業	1			
	計	25	16	11	20

卒業生の大学編入学状況(本科) *Entrance into Universities*

大学名	入学年度					合 計	大学名	入学年度					合 計
	平成14年度以前	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度			平成14年度以前	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
北海道大学	8				1	9	信州大学	23	3	3	1	30	
室蘭工業大学	4				1	5	岐阜大学	4				5	
北見工業大学	3					3	静岡大学	4	1			5	
弘前大学	1		1			2	豊橋技術科学大学	108	8	6	9	131	
岩手大学	32	1	1	1		35	三重大学	3				3	
東北大学	3	1	1	2		7	京都大学	2		1		3	
秋田大学	24	3	2	1		30	京都工芸繊維大学	6				6	
山形大学	21	3				24	大阪大学	1				1	
茨城大学	26		5	2		33	神戸商船大学	2				2	
図書館情報大学	4	2				6	和歌山大学	2				2	
筑波大学	3		1	2		6	鳥取大学	1				1	
宇都宮大学	14	5	4			23	島根大学	4				4	
群馬大学	20	3	1	1		25	岡山大学	1				1	
埼玉大学	4	1	2	1		8	広島大学	4				4	
千葉大学	150	7	10	12		179	山口大学	8				8	
東京大学	8			2		10	徳島大学	2				2	
東京農工大学	54	5	7	4		70	香川大学	2				2	
東京工業大学	7		1	1		9	愛媛大学	2				2	
東京海洋大学	13	2	2	1		18	九州大学	3			1	4	
御茶ノ水女子大学	1					1	九州芸術工科大学	1				1	
電気通信大学	46	3	1	1		51	九州工業大学	21				21	
横浜国立大学	7		1	1		9	佐賀大学	4				4	
新潟大学	14	2	1	1		18	長崎大学	5				5	
長岡技術科学大学	189	18	10	21		238	熊本大学	5				5	
富山大学	2		1			3	宮崎大学	2				2	
金沢大学	1		1			2	琉球大学	3				3	
福井大学	6					6	その他の大学	39	4	7	5	55	
山梨大学	28	2	2	2		34	合 計	955	74	73	74	1,176	

準学士課程と専攻科課程の最近の進学・就職先一覧

卒業生の高等専門学校専攻科入学状況

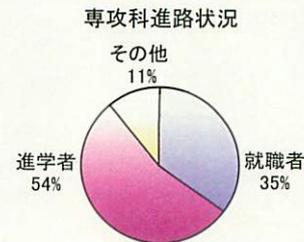
Entrance into Advanced Engineering Faculties of National College of Technology

高専名	入学年度	平成 14 年度以前	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	合 計
木更津工業高等専門学校		38	24	41	33	136
八戸工業高等専門学校		1	0	0	0	1
鶴岡工業高等専門学校		0	0	0	1	1
福島工業高等専門学校		0	0	1	0	1
東京工業高等専門学校		0	0	0	1	1
豊田工業高等専門学校		2	0	0	0	2
奈良工業高等専門学校		0	0	0	1	1
鈴鹿工業高等専門学校		1	0	0	0	1
舞鶴工業高等専門学校		0	0	1	0	1
松江工業高等専門学校		1	0	0	0	1
久留米工業高等専門学校		1	0	0	0	1
合 計		44	24	43	36	147

平成16年度専攻科修了生の進路状況

Advanced Engineering Courses Graduates

専 攻 Course	修了者数 Graduate	就職者数 Employed	進学者数 Going to Univ.	その他 Others
機械・電子システム工学専攻 Mechanical and Electrical Course	12	2	10	0
制御・情報システム工学専攻 Control and Information Course	12	5	4	3
環境建設工学専攻 Control and Information Course	2	2	0	0
合 計 Total	26	9	14	3



平成16年度専攻科修了生の進路先一覧

Employers and Graduate School of Advanced Engineering Courses

専攻	機械電子システム工学専攻	制御情報システム工学専攻	環境建設工学専攻
就 職 先	エスエス製薬	1 西沢電機計器	1 フクシコンサルタント
	双葉電子工業	1 エヌアイディ・アイエス	1 カントウ機材
		首都圏新都市鉄道	1
		山下ゴム	1
		自営	1
計	2	5	2
進 学 先	豊橋技術科学大学大学院	1 北陸先端科学技術大学院大学	1
	神戸大学大学院	1 豊橋技術科学大学大学院	1
	東京農工大学大学院	1 長岡技術科学大学大学院	1
	山梨大学大学院	2 京都工芸繊維大学大学院	1
	千葉大学大学院	2	
	静岡大学大学院	1	
	信州大学大学院	1	
北陸先端科学技術大学院大学	1		
計	10	4	0
合 計	12	合 計 9	合 計 2

(分析結果とその根拠理由)

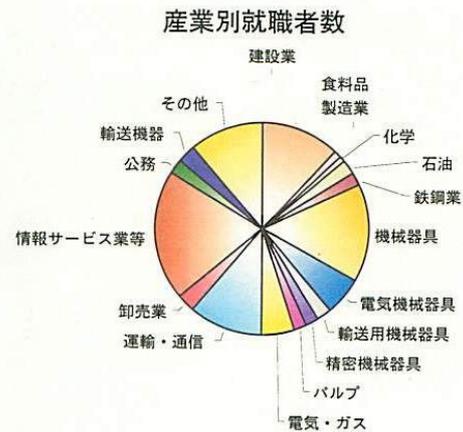
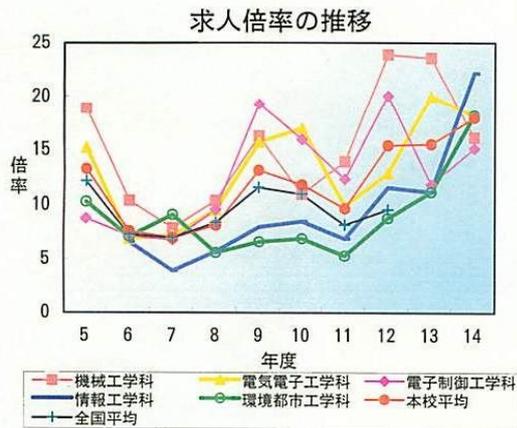
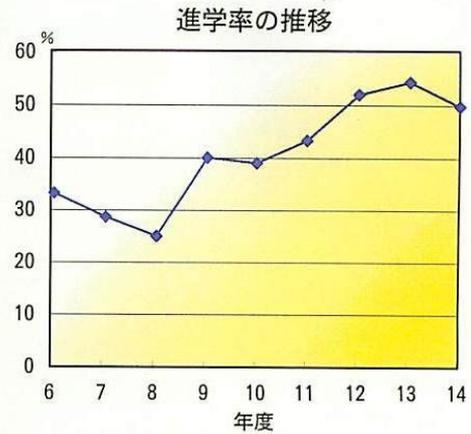
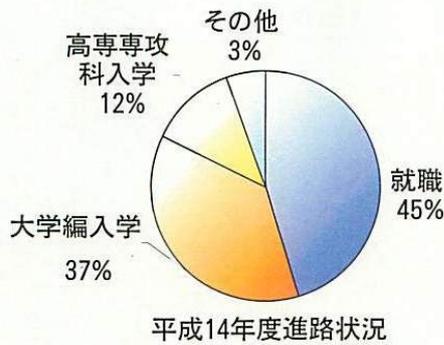
進級の状況，卒業（修了）時の状況，資格取得状況，特別学修の状況，一般特別研究，卒業研究，専攻科特別研究等の内容・水準，各種コンテスト等の結果等から判断して，教育の成果や効果が上がっている。

観点 6 - 1 - : 教育の目的において意図している養成しようとする人材像等について、就職や進学といった卒業（修了）後の進路の状況等の実績や成果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

（観点に係る状況）

平成14年度の準学士課程卒業生の進路状況，この年度までのおよそ10年間の進学率の推移，求人倍率の推移及び産業別就職者数を（資料 6 - 1 - - 1）に示す。また，2006年度までの3年間の就職実績を（資料 6 - 1 - - 2）に示す。また，最近の準学士課程卒業生の進路状況，就職先一覧，大学編入学状況，高等専門学校専攻科入学状況，専攻科修了生の進路状況及び進路先一覧を（資料 6 - 1 - - 11）に示す。準学士課程と専攻科課程の就職希望者の就職率はほぼ100%である。

資料 6 - 1 - - 1



（出典 木更津工業高等専門学校 学校要覧 2003）

過 去 3 年 間 の 就 職 実 績

機 械 工 学 科	電 気 電 子 工 学 科 平成 12 年 電 気 工 学 科 を 改 組	電 子 制 御 工 学 科	情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科 平成 6 年 土 木 工 学 科 を 改 組
Hエアロスペースエンジニアリング	カイト	旭信シンクロテック	アイティーシステムズ	アルインコ
いすゞエンジニアリング	関東天然瓦斯開発	アルファテックソリューションズ	アジル・ラボ	刈込設計
石川島汎用機サービス	キクチ	NSデザイン	アルメックス	環境エンジニアリング
出光興産	キャノン販売	NTTドコモ	アルファテックソリューションズ	カンドー
NSデザイン	共和通信	オムロンフィールドエンジニアリング	出光興産	君津住宅
オムロンフィールドエンジニアリング	親和パッケージ	キクチキャノン	インフォーコム	クリタス
オリンパス	ジュピターコーポレーション	キャノンNTC	HIP	京急建設
花王	CRCシステムズ	財務省印刷局	NECインフロンティア	玄工務店
キクチ	JAL航空機整備成田	JR東日本	NTTATシステムズ	興産産業
黒田精工	JAL航空機整備東京	神鋼電機	NTTドコモ	幸徳設計事務所
クリタス	JFEスチール	セコムテクノサービス	エムティフィールドサービス	国土交通省
コスモ石油	総合警備保障	TID	大崎コンピュータ	新日化環境
産機エンジニアリング	ソニーEMCS	TDC	大崎コンピュータエンジニアリング	JR東海
サントリー	ソフトバンク	テルミック	オリンパスシステムズ	JR西日本
シチズン時計	第一テクノ	凸版印刷	花王	JR東日本
シミズオクト	千葉県警	ニコン	かっぺ	住金橋梁センター
新日鉄化学	TSG	日産ディーゼル技術研究所	キャノンファインテック	セクター
JAL航空機整備東京	東京電力	日産テクノ	クラリオン	セコム
JAL航空機整備成田	東邦化学工業	日鉄エレックス	クラリオンシステムハウス	第一テクノ
JFEスチール	巴産業	日本計算機販売	ケンウッド	千葉ガス
JR東海	道路通信エンジニア	日本電気システム建設メディアサービス	セコム	月島テクノメンテサービス
セコム	成田エアポートテクノ	日本放送協会	セコムテクノサービス	東京水道サービス
テクモ	ニコン	日本ビクター	ソニーEMC木更津テック	道路建設コンサルタント
テレビアルファ	日経総合印刷	パイオニア	翼システム	トニフォー・ティエ・エス
東邦化学工業	日産テクノ	パナソニックオートモティブ	TID	巴商会
東レ	日本IBM	パナソニックシステムソリューション	トミックス	成豊建設
東京ガス	日本IBMテクニカルソリューション	バンテクノ	ナルボ	日東電工
東京エレベーター	日本オーチスエレベーター	日野自動車	日本IBM	日本自動ドア
トステム	日本空港テクノ	ビクターサービスエンジニアリング	日本放送協会	日本電算機販売
成田エアポートテクノ	日本放送協会	富士ソフトABC	パイオニア	ノザキ建工
日経総合印刷	ネオテクノ	富士通デバイス	パイオニアサービス	フジテック
日航エンジンテクノロジ	パイオニア	フジオネテクノソリューションズ	ハイテックシステム	ベクトルジャパン
日産ディーゼル技術研究所	日立化成工業	松下通信工業	パナソニックSS	ヤフー
日本空港テクノ	日立コンシューマ・マーケティング	松下電器産業パナソニックオート	FSA	ワン・エイティ
日本デキシー	日立産機システム	山武ビルシステム	日立アドバンステクノロジ	
VSN	放射線医学総合研究所		日立INS	
日立ビルシステム	防衛庁		日立ディスプレイズ	
日野自動車	三菱電機ビルテクノサービス		日立ビジネスソリューション	
富士家住宅機材	三菱プレジジョン		フジオネテクノソリューションズ	
ベクトルジャパン	ライフネット		放送衛星システム	
三菱重工業	ラック		明治乳業	
理研ビタミン	理研ビタミン		リコーテクノシステムズ	
レンゴー	レンゴー		レンゴー	
			ヤフー	
			横河システムエンジニアリング	

(出 典 「 21 世 紀 へ は ば た く 君 た ち へ 進 学 志 望 の 手 引 き 2006 」 24 頁)

(分析結果とその根拠理由)

就職や進学後の進路の状況から判断して、これら進路先は本校の教育の目的に相応しいものである。また、準学士課程と専攻科課程の就職希望者の就職率はほぼ100%である。教育の成果や効果が十分上がっている。

観点 6 - 1 - : 学生が行う学習達成度評価等から判断して、学校の意図する教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況)

[準学士課程]

平成17年度に、本校準学士課程卒業時における学生自身による学習・教育目標達成度評価のアンケート(資料6-1--1)を実施した。その集計結果(資料6-1--2)によれば、全ての項目で3(「目標をほぼ(6割程度)達成できた」)以上となっている。また、各学年の各授業科目に対して授業評価アンケートを実施し、平成17年度には、その結果に対して教員のコメントを記載した授業評価アンケート集「木更津高専における教育改善-授業科目の見直し-」を作成した。その目次等を(資料6-1--3, 4, 5)に示す。

[専攻科課程]

本校のJABEE受審の際に、学習・教育目標達成度に関する学生自身による自己評価点検(資料6-1--6, 7)を実施し、それらは(現地閲覧資料19)にまとめられている。専攻科課程においても、各学年の各授業科目に対して授業評価アンケートを実施し、それらは上記授業評価アンケート集にまとめられている。また、専攻科入学後、学生が立てた学習目標に対して指導教員が助言を与えるための学習助言シート(資料6-1--8)を作成している。

資料 6 - 1 - - 1

木更津工業高等専門学校準学士課程卒業時における 学生自身による学習・教育目標達成度評価アンケート用紙

木更津工業高等専門学校準学士課程卒業時における 学生自身による学習・教育目標達成度評価

【目的】

この調査は、学習・教育目標に関する達成度について学生が自己評価を行うもので、集計結果は準学士課程の教育改善に役立てるために必要な基礎資料となります。

【記入上の注意】

1) 下表の各評価項目について、評価結果の欄に以下の数字を記入して下さい。

- 5 目標を十二分に達成できた。
- 4 目標を達成できた。
- 3 目標をほぼ(6割程度)達成できた。
- 2 目標を一部達成した。
- 1 目標を全く達成できなかった。

2) 自己評価の範囲は入学から卒業までの全ての期間をふりかえり、授業だけでなく部活動等を含めた学校活動全般を対象として評価して下さい。

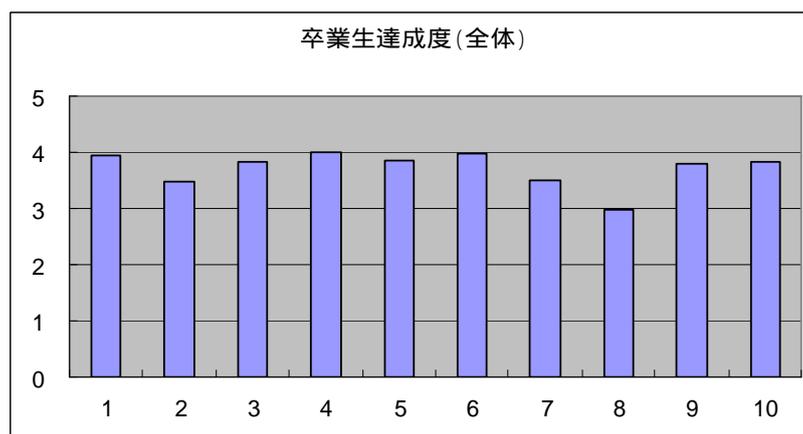
作成日	
2006年	月 日
学 科	
M E D J C	

学習・教育目標	評価基準	評価項目	評価結果
1. 人間形成 健康な身体と精神を 培い、社会に貢献する すぐれた人間として、 幅広い教養をもとに、 技術者としての責任を 自覚し、その使命を実 行しうる技術者。	(1) 豊かな人間性と健康な心 身を培う。	・ 文芸作品を通して、人々の生活を見つめ、他者の心を理解し、自 分の考えを深められること。 ・ 芸術に触れ、美的価値の感受性を育むこと。 ・ 健康や体力についての理解を深めるとともに、スポーツの実践を 通して心身の調和的な発育・発達を促すこと。	
	(2) 深く社会について理解 し、広い視野が持てるよう、 豊かな教養を身につける。	・ 日本および世界の歴史的・形成過程についての理解を深めること。 ・ 世界各国の地域性を認識し、国際社会に対する理解を深めること。	
	(3) 技術が自然や社会に及ぼ す影響・効果を理解し、技術 者としての責任を自覚する。	・ 技術者としての社会的な責任について理解できること。	
2. 科学技術の修得 自らの専門とする科 学技術についてその基 礎となる理論及び原理 を十分に理解し、積極 的に活用しようとする 技術者。	(1) 数学および自然科学の基 礎知識とそれらを用いた論理 的思考能力を身につける。	・ 数学および自然科学の基礎知識を身につけること。 ・ 実験を通して現象を理解できること。	
	(2) 専攻する学科の専門分野 の知識と能力を身につける。	・ 各専門分野の基礎知識を身につけ、それらを用いて工学的な現象が 理解できること。	
	(3) 実験・実習を通して、も のづくりに必要な力を身につ ける。	・ 実験・実習を通して、ものづくりに必要な実践的技術を身につける こと。	
3. コミュニケーショ ン能力 高度情報化社会に対 応し、自らの考えを状 況に応じて的確に表現 しうる技術者。	(1) 日本語の記述能力を身に つける。	・ 国語表現の技法を身につけるとともに語彙力を高め、場面や状況に 応じた言葉で表現できること。	
	(2) 英語によるコミュニケー ション基礎能力を身につけ る。	・ 基礎的な英語力を身につけること。	
	(3) 情報技術を使いこなし、 発表・討論ができる能力を身 につける。	・ コンピュータを用いた情報検索や情報処理などができること。 ・ コンピュータを用いて、一般特別研究や卒業研究などの内容を 発表・討論できること。	
4. 創造力 自ら工夫して新しい ものを造り出す問題発 見・解決型の技術者。	一般特別研究や卒業研究な どを通して、修得した知識や 技術をもとに創造性を発揮 し、問題を発見し、解決する 能力を身につける。	・ 修得した専門知識が活用できること。 ・ 問題意識をもち、創意工夫でその解決にあたる姿勢がもてること。	

(出典 JABEE 認定・認証評価推進委員会資料)

**木更津工業高等専門学校準学士課程卒業時における
学生自身による学習・教育目標達成度評価アンケートの結果**

番号	設問	1	2	3	4	5	平均
1	(1)豊かな人間性と健康な心身を培う。	1	15	41	71	63	3.9
2	(2)深く社会について理解し、広い視野が持てるよう、豊かな教養を身につける。	6	32	56	61	36	3.5
3	(3)技術が自然や社会に及ぼす影響・効果を理解し、技術者としての責任を自覚する。	4	10	49	82	46	3.8
4	(1)数学および自然科学の基礎知識とそれらを用いた論理的思考能力を身につける。	1	10	43	71	66	4.0
5	(2)専攻する学科の専門分野の知識と能力を身につける。	3	9	50	79	50	3.8
6	(3)実験・実習を通して、ものづくりに必要な力を身につける。	1	11	43	74	62	4.0
7	(1)日本語の記述能力を身につける。	5	20	71	63	32	3.5
8	(2)英語によるコミュニケーション基礎能力を身につける。	17	43	79	35	17	3.0
9	(3)情報技術を使いこなし、発表・討論ができる能力を身につける。	7	7	54	71	52	3.8
10	一般特別研究や卒業研究などを通して、修得した知識や技術をもとに創造性を発揮し、問題を発見し、解決する能力を身につける。	4	10	47	82	48	3.8



- 5 目標を十二分に達成できた。
 4 目標を達成できた。
 3 目標をほぼ(6割程度)達成できた。
 2 目標を一部達成した。
 1 目標を全く達成できなかった。

(出典 JABEE 認定・認証評価推進委員会資料)

冊子「木更津高専における教育改善 - 授業科目の見直し - 」表紙

木更津高専における教育改善

－授業科目の見直し－

平成17年10月

木更津工業高等専門学校

(出典 庶務課資料, 現地閲覧資料 20)

冊子「木更津高専における教育改善 - 授業科目の見直し - 」目次

目 次

「授業科目の見直し」の発行にあたり	巻頭
まえがき	1
1. 木更津高専のFD活動の流れ	3
2. 項目別の現在の状況	4
3. 木更津高専における授業改善のポイント	6
4. 「授業評価アンケート」について	7
資料 1 - 1 : 記述式アンケート(既設10設問)	10
資料 1 - 2 : 記述式アンケート((既設 3 設問+自由設定 7 設問)	11
資料 2 : マークシート利用のアンケートについて	12
資料 3 : マークシートによる全回答の集計結果	14
平成16年度開講 授業科目一覧：一般科目～専攻科	15
授業担当教員によるコメント等	
一般科目	一般-1
機械工学科	M-1
電気電子工学科	E-1
電子制御工学科	D-1
情報工学科	J-1
環境都市工学科	C-1
専攻科	Ad-1

資料 6 - 1 - - 5

冊子「木更津高専における教育改善 - 授業科目の見直し - 」10頁より

記述式：既設10設問アンケート用紙

平成17年度 学生による授業評価アンケート (記述式：既設10設問)

※ 当アンケートは、授業方法および授業内容(科目／カリキュラム)の改善を目的として木更津高専が組織的に実施するものであり、回答した学生の成績評価等には一切関係しません。

科目名： クラス： 年 科／専攻 | 回答日： 年 月 日

教員名： 回答学生(記入は担当教員の指示による)：

設問1：あなた自身の授業に対する取り組みに満足していますか？

設問2：授業の進度や分かりやすさ等について満足していますか？

設問3：使用している教科書について満足していますか？

設問4：補助教材や配布資料等について満足していますか？

設問5：課題やレポート等について不満はないですか？

設問6：試験のレベル(難易度)に不満はないですか？

設問7：成績評価方法について不満はないですか？

設問8：この授業で(最も)満足を感じる点は何ですか？

設問9：この授業で(最も)不満を感じる点は何ですか？

設問10：その他、意見等あれば書いてください。

(出典 庶務課資料，現地閲覧資料 20)

「生産システム工学」教育プログラム，学習・教育目標達成度に関する
学生自身による自己評価点検の表紙

「生産システム工学」 教育プログラム

学習・教育目標達成度に関する
学生自身による自己評価点検表

2005年度版

_____ 専攻

学籍番号 _____

氏 名 _____

当点検表は「特別研究状況報告書」にファイルすること。

木更津工業高等専門学校

(出典 専攻科委員会資料)

「生産システム工学」教育プログラム，学習・教育目標達成度に関する
 学生自身による自己評価点検の内容

「生産システム工学」教育プログラム
 学習・教育目標達成度に関する学生自身による自己評価点検表

【目的】

この自己評価点検表は、学習・教育目標に関する達成度について学生が自己点検等を行い、その後の学習に役立てるためのものです。各段階で自己点検等を重ね、プログラム修了時には全ての項目に「3以上」がつかうことが望まれます。

【記入上の注意】

1) 『「生産システム工学」教育プログラム 履修の手引』を参照しながら、下表の右欄に以下の数字を記入して下さい。

- 5 目標を十二分に達成できた。
- 4 目標を達成できた。
- 3 目標をほぼ(6割程度)達成できた。
- 2 目標を一部達成した。
- 1 目標を達成すべく努力中である。
- 履修前または履修中である。

2) 「今後の学習目標」の欄には、その後の学習計画等について、具体的に記入して下さい。

3) 「指導教員の助言」の欄は、特別研究指導教員に記入を依頼してください。

学習・教育目標	評価基準	点検項目	専1年 6月	専2年 4月	プ'助'弘 修了時
(A) 人間形成：健康な 身体と精神を培 い、社会に貢献 するすぐれた人間 として、幅広い 教養をもとに、 技術者としての 責任を自覚し、 その使命を履行 しうる技術者	(A - 1) 豊かな人間性と健康な心身 を培う。	・健康や体力についての理解を深めるとともに、スポーツ の実践を通して心身の調和的な発育・発達を促し、生涯 スポーツの礎を構築できること ・文芸作品を通して、人々の生活を見つめ、他者の心を理 解し、自分の考えを深められること			
	(A - 2) 技術が自然や社会に及ぼす 影響・効果を理解し、技術 者としての責任を自覚す る。	・歴史学習を通して技術者が持つべき社会観を構築できる こと ・技術に関係する事故等の検討を通して、技術者としての 社会的な責任と使命について理解できること ・環境問題と社会の関係についての概略を理解できること ・自然環境に関する基礎的事項を理解できること			
(B) 科学技術の修得と 応用：自らの専門 とする科学技術に ついて、その基礎 となる理論および 原理を十分に理解 し、境界領域にも すすんで活躍しう る技術者	(B - 1) 数学および自然科学の基礎 知識とそれらを用いた論理 的思考能力を身につける。	・数学および自然科学の基礎知識を身につけ、それらを用 いて応用問題を解けること ・実験を通して現象を理解できること			
	(B - 2) 最も得意とする専門分野の 知識と能力を身につける。	・各分野の基礎知識を身につけ、それらを用いて実際の工 学的な現象を理解できること			
	(B - 3) 異なる技術分野を理解し、 得意とする専門分野の知識 と複合する能力を身につけ る。	・異なる技術分野を理解し、得意とする専門分野の知識と 複合するために、専門分野以外の工学の基礎知識を身に つけること			
	(B - 4) 実験や実習を通して実践的 技術を身につける。	・実験・実習を通して、実際の工学現象を理解し、実践的 技術を身につけること			
(C) コミュニケーション 能力：国際化お よび高度情報化社 会に柔軟に対応 し、自らの考えを 状況に応じた的確 に表現しうる技術 者	(C - 1) 日本語の記述能力を身につ ける。	・国語表現の技法を身につけるとともに、語彙力を高め、 場面や状況に応じた言葉で表現できること			
	(C - 2) 情報技術を使いこなし、日 本語による発表・討論がで きる能力を身につける。	・コンピュータによる情報処理や情報収集等ができること ・コンピュータを用いて、卒業研究や専攻科特別研究の内 容を発表・討論できること			
	(C - 3) 国際的に通用するコミュニ ケーション基礎能力を身に つける。	・国際的に活躍するための基礎的な語学力、特に英語力を 身につけること			
(D) 創造力：自ら工夫 して新しいものを 造り出す研究開発 型の技術者	卒業研究や専攻科特別研究 などを通して、修得した知 識をもとに創造性を発揮 し、自発的に問題を解決 する能力を身につける。	・修得した専門知識を用いること ・問題を解決するために、創意工夫して問題を解決できる こと			

(出典 専攻科委員会資料)

専攻科学習助言シート

今後の学習目標 / 指導教員の助言

学 生 名 _____

指導教員名 _____

点検 時期	今後の学習目標：学生が記入	
	指導教員の助言：教員が記入	
専攻科 1 年 6 月	学 生	
	指 導 教 員	
専攻科 2 年 4 月	学 生	
	指 導 教 員	
専攻科 修了時	学 生	
	指 導 教 員	

(出典 専攻科委員会資料)

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程の卒業時に、学生自身による学習・教育目標達成度評価のアンケートを実施し、全ての項目で「目標をほぼ(6割程度)達成できた」という良い結果を得た。準学士及び専攻科の両課程で授業評価アンケートを実施し、教員のコメントを記載したアンケート集を作成した。また、専攻科入学後に学生が立てた学習目標に対して指導教員が助言を与えるための学習助言シートを作成し、修了時に、学習・教育目標達成度に関する学生自身による自己評価点検も実施している。

以上のように、各種アンケートや助言シートにより教育の成果や効果を確認しており、それらの結果より教育の成果や効果が上がっていると判断できる。

観点 6 - 1 - 1 : 卒業（修了）生や進路先などの関係者から、卒業（修了）生が在学時に身に付けた学力や資質・能力等に関する意見を聴取するなどの取組を実施しているか。また、その結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

（観点に係る状況）

平成17年度に、準学士課程卒業生と専攻科課程修了生に対して、上記意見を聴取するアンケート（資料 6 - 1 - 1）を実施した。その集計結果（資料 6 - 1 - 2）によれば、多くの項目で良い回答を得ている。また、進学先として、長岡技術科学大学と豊橋技術科学大学に、就職先として企業に、それぞれアンケートを実施した。その結果の一部を（資料 6 - 1 - 3）に示す。

また、本校のJABEE受審の際に、いくつかのアンケートと座談会を実施し、関係者から意見を収集した。それらについての資料（専攻科修了生、就職先、保護者への各アンケート及びその調査結果、専攻科修了生座談会及びその議事要旨）を（現地閲覧資料21）に示す。

更に、平成16年度には、本校における教育・研究活動及び地域連携等の状況の自己点検及び評価についての学外の有識者による外部評価を行い、報告書としてまとめた。その一部を（資料 6 - 1 - 4）に示す。特に専攻科の現状、地域共同テクノセンターの現状、JABEE認定申請に向けての現状、中期計画の策定等について、貴重な評価・提言を頂いた。

上記達成度評価アンケートの結果や、卒業生、修了生、大学、企業等及び外部評価委員からの意見・提言によれば、例えば英語等で改善を求める声があることが分かる。これらに関しては、観点 6 - 1 - 1 で述べたカリキュラムの見直し等により、現在改善を試みているところであるが、まだ始まったばかりであり、十分な結果を得るに至っていない。

卒業生と修了生に対するアンケート用紙

木更津工業高等専門学校「卒業生・修了生アンケート」

H18.1.24

本アンケートは木更津高専の教育改善に用いるために行っております。Q1～9の回答は該当項目の番号を右の回答欄にご記入ください。Q10・11は記述式回答となっております。項目が多くお手数をおかけいたしますが、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

<p>Q1 ご卒業または修了後、何年経っていますか。 -9年以下、 -10～19年、 -20～29年、 -30年以上</p>	<p style="text-align: center;">回答欄</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">A1</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table>	A1																									
A1																											
<p>Q2 準学士課程卒業の方へお聞きします。木更津高専の卒業学科を教えてください。 -機械工学科 -電気電子工学科(電気工学科) -電子制御工学科 -情報工学科 -環境都市工学科(土木工学科)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">A2</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table>	A2																									
A2																											
<p>Q3 専攻科修了の方へお聞きします。卒業専攻を教えてください。 -機械・電子システム専攻、 -制御・情報システム専攻、 -環境建設工学専攻</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">A3</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table>	A3																									
A3																											
<p>Q4 現在の職種等を教えてください。 -会社員・公務員 -大学生・高専専攻科生 -大学院生 -自営業 -その他</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">A4</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table>	A4																									
A4																											
<p>Q5 現在の業種と職種を教えてください。 【業種】 (1)鉱業 (2)建設業 (3)食料品 (4)繊維製品 (5)パルプ・紙 (6)化学 (7)医薬品 (8)石油・石炭製品 (9)ゴム製品 (10)ガラス・土石製品 (11)鉄鋼業 (12)非鉄金属製品 (13)金属製品 (14)機械 (15)電気機器 (16)輸送用機器 (17)精密機器 (18)電気・ガス・水道業 (19)運輸業 (20)情報・通信業 (21)小売業 (22)サービス業 (23)公務員 (24)その他 【職種】 (1)研究開発 (2)製造・生産技術 (3)設計 (4)生産・品質管理 (5)システムエンジニア (6)サービスエンジニア (7)営業 (8)経営・管理 (9)その他</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">A5</td> <td style="width: 80%; text-align: center;">業種</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">職種</td> </tr> </table>	A5	業種		職種																						
A5	業種																										
	職種																										
<p>Q6 木更津高専を選択し、卒業・修了しての感想を聞かせてください。 -自分にふさわしい理想的な選択ができた、 -まあまあ自分にふさわしい理想的な選択ができた -第1希望ではなかったが、満足している、 -他の学校に入ればよかったと後悔している、 -よく分からない</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">A6</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table>	A6																									
A6																											
<p>Q7 木更津高専における勉強の内容は、現在役立っていますか？ -とても役立っている、 -わりと役立っている、 -普通、 -余り役立っていない、 -全く役立っていない</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">A7</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table>	A7																									
A7																											
<p>Q8 木更津高専で受けた授業カリキュラムの中で、以下の関連科目が十分な内容と時間数が確保されていたと思いますか。 5段階で評価してください。 -十分、 -まあまあ、 -普通、 -やや不十分、 -不十分</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">A8</th> </tr> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">(1)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(2)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(3)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(4)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(5)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(6)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(7)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(8)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(9)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(10)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(11)</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(12)</td><td></td></tr> </table>	A8		(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)		(7)		(8)		(9)		(10)		(11)		(12)	
A8																											
(1)																											
(2)																											
(3)																											
(4)																											
(5)																											
(6)																											
(7)																											
(8)																											
(9)																											
(10)																											
(11)																											
(12)																											
<p>(1) 国語 (2) 英語 (3) 数学 (4) 物理・化学 (5) 一般特別研究 (6) その他一般科目 (7) 情報技術・コンピュータ基礎 (8) 専門科目の講義 (9) 専門科目の演習・実験実習 (10) 卒業研究・特別研究 (11) インターンシップ (12) 他学科の専門科目(専攻科修了生のみ回答)</p>																											
<p>Q9 木更津高専の学生生活の中で、卒業後に役だったと思われることは何ですか。 -友人関係、 -寮生活、 -部活動、 -自由な時間、 -その他()</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">A9</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table>	A9																									
A9																											
<p>Q10 木更津高専で受けた教育について、良かったと思う点と良くなかったと思う点をお聞かせください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-bottom: 10px; padding: 5px;">良かった点:</div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; padding: 5px;">良くなかった点:</div>																											
<p>Q11 木更津高専への提言があれば、ご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; padding: 5px;"></div>																											

回答は以上です。ご協力ありがとうございました。
JABEE認定・認証評価推進委員会

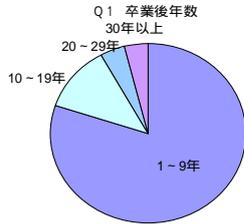
(出典 JABEE 認定・認証評価推進委員会資料)

資料 6 - 1 - - 2 (1 / 2)

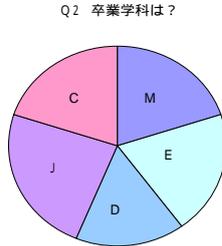
卒業生と修了生に対するアンケート結果

設問内容&グラフ

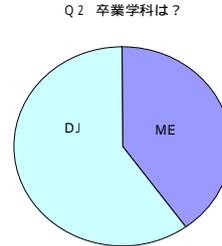
Q1 ご卒業または修了後、何年経っていますか。



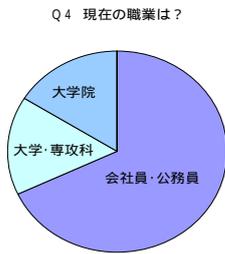
Q2 木更津高専の卒業学科を教えてください。



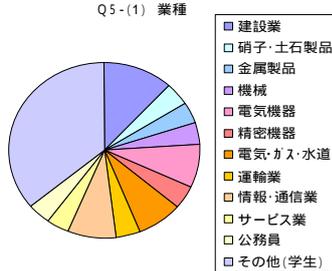
Q3 専攻科修了の方へお聞きします。卒業専攻を教えてください。



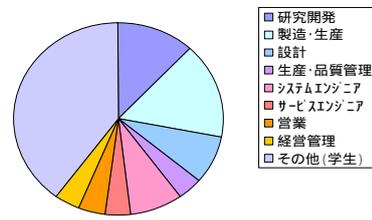
Q4 現在の職種等を教えてください。



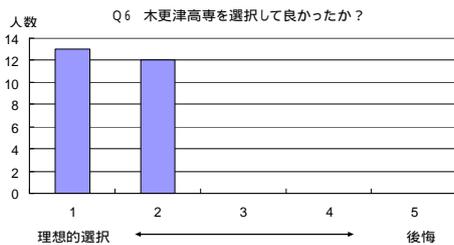
Q5 現在の業種と職種を教えてください。



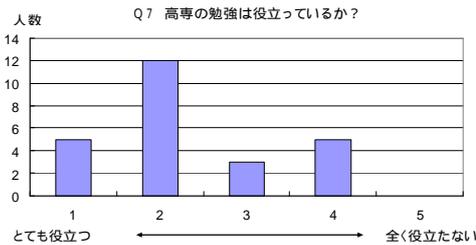
Q5-2 職種



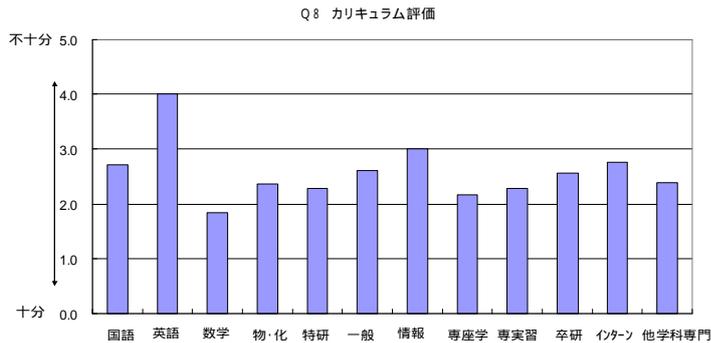
Q6 木更津高専を選択し、卒業・修了しての感想を聞かせてください。



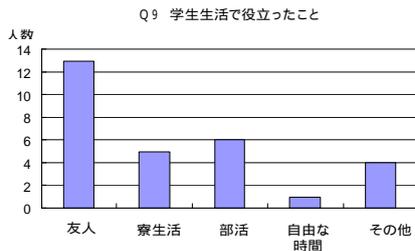
Q7 木更津高専における勉強の内容は、現在役立っていますか？



Q8 木更津高専で受けた授業カリキュラムの中で、以下の関連科目が十分な内容と時間数が確保されていたと思いますか。



Q9 木更津高専の学生生活の中で、卒業後に役だったと思われることは何ですか。



(出典 JABEE 認定・認証評価推進委員会資料)

資料 6 - 1 - - 2 (2 / 2)

卒業生と修了生に対するアンケート結果

Q 10 木更津高専で受けた教育について、良かったと思う点と良くなかったと思う点をお聞かせください。

良かった点

- ・ 実験・実習
- ・ 専門科目・演習・実験
- ・ 専門教育を学べた
- ・ 専門教育を学べた
- ・ 実習が多い点、また設計と実習の連携が取れていた
- ・ 基本的なことを多く学べたと思います。広く浅くと言う感じで良かったです。
- ・ 専門科目が幅広く勉強できた
- ・ 実習、経験することでものづくりがイメージできるようになった
- ・ 他の教育機関と比べて、数学や専門分野を早い時期から学び始めることができるので卒業時のレベルが結果的に高くなる
- ・ 専門分野や実験を早くからできる
- ・ 実践的かつ実用的な教育を受けることができること
- ・ 早い時期に専門知識を身につけ、実践する機会があること。学会に発表する機会が多い
- ・ 落ち着いた教育環境
- ・ 実験レポート・自分で考えて報告書を書くこと
- ・ 集中して学べる点、自由な風土
- ・ 科学的な考え方
- ・ 受験のための授業ではなかったため純粋な競争が出来たこと
- ・ 自由な校風で自立性が築けた
- ・ プログラムの勉強
- ・ 早い段階から専門教育を受けることでその知識がわりと当たり前のもので受け止めることが出来た。基本があるので会社生活で必要な技術を余り苦無く吸収することが出来ている
- ・ 1年次より専門を取り入れた教育、研究のための時間が十分にあったこと
- ・ 専門科目を学ぶ時間が多くあったこと、その分ゆとりを持って学べたこと(理解することに対して時間を要するので有り難かったです)
- ・ 大学に比べて先生と学生の距離が近いこと

良くなかった点

- ・ 英語に力を入れるべき
- ・ 英語・英会話不足
- ・ 英語が伸びなかった
- ・ 外国語が不十分に感じた
- ・ プログラミングの時間が少ない点、C言語を教えるべきだと思います
- ・ 英語は5年生までやるべき
- ・ 数学等、基礎学力が劣る
- ・ 国語や英語などの語学力が、他の教育機関を卒業・修了した人と比べると自己努力が必要となってしまうところ
- ・ クラスのメンバーに流動性がなかった点。基礎教養課程ではもっとクラスメンバーに流動性を持たせることが出来たのでは？
- ・ 他の学校のレベルを知らない
- ・ 英数系の力量不足
- ・ 全体的に時間がなかった
- ・ 英語等基礎学力
- ・ 特になし
- ・ 国社英の一般教養が圧倒的に少なくまた選択数が少ない
- ・ 英語については、大学卒の人たちと比べ相当に劣る
- ・ パソコンについて余りやらなかった、英語が苦手
- ・ 情報工学科が出来て間もない頃であったためカリキュラムや設備が十分でなかったと感じる。(UNIX全盛期であったのに基礎はMS-DOSだったり)自由に使用できるPCも少なかったと思う(今はそんなこと無いと思いますが)
- ・ 基礎科目の不足、特に英語、選択科目の少なさ。もっと幅広い分野の勉強を増やすべき
- ・ 一般科目(特に英語)の時間数が少なかったため大学に入ってから一般生(1年からの人たち)に比べて知識が少なかった

Q 11 木更津高専への提言があれば、ご記入ください。

- ・ 教育機関としてもまた学術機関としても一目置かれる存在となりますよう今後のご活躍を期待しております
- ・ 資格取得の勉強
- ・ 一般科目はクラス替え(他学科と合同)
- ・ 自分で物事を作り出す能力を育む研究に力を入れた方がよいのではないのでしょうか？
- ・ 専攻科での少人数授業は良かった
- ・ 他学科の講義を受けられたら良かったかなと思います。今更プラスチック関連の講義受けたいです。
- ・ 特になし
- ・ 高専から大学に編入し現在SEをしている者として専門の技術力は卒と比較しても劣るところはないと思いますが英語については問題外のレベル差がある
- ・ 特になし
- ・ 校舎もきれいになりとても良いと思います。未だ高専の存在を知らない方も多いので今後とも地域貢献など力を入れていただければと思います。
- ・ 情報科に関してになりますがOSがUNIXだけじゃなくてWindowsも学ぶ時間があつたらいいな〜と思います。

(出典 JABEE認定・認証評価推進委員会資料)

資料 6 - 1 - - 3 (1 / 4)

大学へのアンケート結果

大学教員の皆様へアンケートのお願い

木更津工業高等専門学校
JABEE 認定・認証評価推進委員会

ご協力いただける大学教員の皆様へ

木更津高専では、本校の教育活動の改善のために、大学教員の皆様にアンケートをお願いしております。大学教員の皆様のご要望を活かし、より良い学生を育成するためにも、忌憚のない御意見をお聞かせいただけますよう、お願い申し上げます。

1. 所属学科をご記入ください。

建設工学
(環境・建設系)

2. 募集の対象となる学科に○をお付けください。複数回答可。

- () 機械工学科 () 電気電子工学科 () 電子制御工学科
() 情報工学科 () 環境都市工学科
() 機械・電子システム工学専攻 () 制御・情報システム工学専攻
() 環境建設工学専攻

3. 高専生に求める人材（能力、人柄など）とはどのようなものでしょうか？

真面目であること。
専門分野の基礎的な事柄を十分に理解していること。

4. 上記3を踏まえ、貴大学に入学した本校のこれまでの卒業生に対する満足度を教えて下さい。該当する番号を○で囲んで下さい。

- ① 非常に満足している ② 満足している ③ あまり満足していない ④ 不満である

5. 貴大学に入学した、これまでの本校の卒業生を見て、優れていると感じている点があればご記入ください。

成績が優秀である。
課題に取り組む真面目さが、他高専に比べて優れている。

6. 貴大学に入学した、これまでの本校の卒業生を見て、本校の教育で重点的に改善を要すると思われる点があればご記入ください。

覇気のない学生も見つけられる(優秀ではあるが)

7. その他、高専教育に対するご要望がありましたら、忌憚なくご記入ください。

本学も含めて、~~教育の~~より、社会性を伸ばす教育が必要だと思います

ご協力ありがとうございました。

資料 6 - 1 - - 3 (2 / 4)

大学へのアンケート結果

大学教員の皆様へアンケートのお願い

木更津工業高等専門学校
JABEE 認定・認証評価推進委員会

ご協力いただける大学教員の皆様へ

木更津高专では、本校の教育活動の改善のために、大学教員の皆様にアンケートをお願いしております。大学教員の皆様のご要望を活かし、より良い学生を育成するためにも、忌憚のない御意見をお聞かせいただけますよう、お願い申し上げます。

1. 所属学科をご記入ください。

エコロジー学科

2. 募集の対象となる学科に○をお付けください。複数回答可。

- 機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科
 情報工学科 環境都市工学科
 機械・電子システム工学専攻 制御・情報システム工学専攻
 環境建設工学専攻

3. 高専生に求める人材（能力、人柄など）とはどのようなものでしょうか？

基礎学力のある向上心を持っていてる学生

4. 上記3を踏まえ、貴大学に入学した本校のこれまでの卒業生に対する満足度を教えて下さい。該当する番号を○で囲んで下さい。

- ① 非常に満足している ② 満足している ③ あまり満足していない ④ 不満である

5. 貴大学に入学した、これまでの本校の卒業生を見て、優れていると感じている点があればご記入ください。

素直で努力型である。

6. 貴大学に入学した、これまでの本校の卒業生を見て、本校の教育で重点的に改善を要すると思われる点があればご記入ください。

基礎学力(特に英語の能力)をしっかりと身に付けさせて欲しい。

7. その他、高専教育に対するご要望がありましたら、忌憚なくご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

(出典 JABEE 認定・認証評価推進委員会資料, 現地閲覧資料 22)

資料 6 - 1 - - 3 (3 / 4)

企業へのアンケート結果

企業の皆様へのアンケート

木更津工業高等専門学校
JABEE・認証評価推進委員会

ご協力いただける企業の皆様へ

木更津高専では、本校の教育活動の改善のために、企業の皆様にアンケートをお願いしております。企業の皆様のご要望を活かし、より良い学生を育成するためにも、忌憚なく、以下のアンケートにお答えいただけますよう、お願い申し上げます。

- 御社の業種をご記入ください。例：(I T) 関係 など
(鉄鋼) 関係
- 求人の対象となる学科に○をお付けください。複数の学科の学生を求人される場合は、対象とされる学科全てにご記入ください。
 機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科
 情報工学科 環境都市工学科
- 御社には、これまで本校の卒業生が就職していますでしょうか？YES または NO に○を付けて下さい。
 YES NO
 *YES と答えられた方は 4 番より、NO の方は 4 番と 8 番のみお答え下さい。
- 御社が高専生に求める人材（能力、人柄など）とはどのようなものでしょうか？
 専門知識を有した人材、自主性を有した人材
- 上記 4 を踏まえ、御社で働く本校のこれまでの卒業生に対する満足度を教えて下さい。該当する番号を○で囲んで下さい。
 ① 非常に満足している ② 満足している ③ あまり満足していない ④ 不満である
- 御社に入社した、これまでの本校の卒業生を見て、優れていると感じている点があればご記入ください。
 自主性、バースの専門知識
- 御社に入社したこれまでの本校の卒業生を見て、本校の教育で重点的に改善を要すると思われる点があればご記入ください。
 3 層の継教育
- その他、高専教育に対するご要望がありましたら、忌憚なくご記入ください。

(出典 JABEE 認定・認証評価推進委員会資料，現地閲覧資料 22)

資料 6 - 1 - - 3 (4 / 4)

企業へのアンケート結果

企業の皆様へのアンケート

木更津工業高等専門学校
JABEE・認証評価推進委員会

ご協力いただける企業の皆様へ

木更津高専では、本校の教育活動の改善のために、企業の皆様にアンケートをお願いしております。企業の皆様のご要望を活かし、より良い学生を育成するためにも、忌憚なく、以下のアンケートにお答えいただけますよう、お願い申し上げます。

- 御社の業種をご記入ください。例：(I T)関係 など
(セキリティ、医療、情報、保険) 関係
- 求人の対象となる学科に○をお付けください。複数の学科の学生を求人される場合は、対象とされる学科全てにご記入ください。
 機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科
 情報工学科 環境都市工学科
- 御社には、これまで本校の卒業生が就職していますでしょうか？YES または NO に○を付けて下さい。
 YES NO
 *YES と答えられた方は 4 番より、NO の方は 4 番と 8 番のみお答え下さい。
- 御社が高専生に求める人材（能力、人柄など）とはどのようなものでしょうか？
 ・理系の専門的な知識
 ・専誠実と持続力、発想力
- 上記 4 を踏まえ、御社で働く本校のこれまでの卒業生に対する満足度を教えて下さい。該当する番号を○で囲んで下さい。
 ① 非常に満足している ② 満足している ③ あまり満足していない ④ 不満足である
- 御社に入社した、これまでの本校の卒業生を見て、優れていると感じている点があればご記入ください。
 ・電気、情報系の基礎的な知識から応用力がある。
 ・集中力と持続力
- 御社に入社したこれまでの本校の卒業生を見て、本校の教育で重点的に改善を要すると思われる点があればご記入ください。
 ・コミュニケーション能力、特に表現力。
- その他、高専教育に対するご要望がありましたら、忌憚なくご記入ください。

(出典 JABEE 認定・認証評価推進委員会資料，現地閲覧資料 22)

資料 6 - 1 - - 4 (1 / 2)

外部評価報告書表紙

外 部 評 価 報 告 書



平成 1 6 年 1 1 月

木更津工業高等専門学校

(出典 庶務課資料 , 現地閲覧資料 23)

外部評価報告書目次

目 次

1.	木更津工業高等専門学校外部評価実施要領・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	平成16年度木更津工業高等専門学校外部評価委員名簿・・・・・・・・	2
3.	平成16年度木更津工業高等専門学校外部評価の実施方法及び項目・・・	3
4.	木更津工業高等専門学校外部評価委員会等日程・・・・・・・・・・・・	4
5.	平成16年度木更津工業高等専門学校外部評価委員会日程表・・・・・・・・	5
6.	外部評価委員会委員に配布した資料一覧・・・・・・・・・・・・・・	6
7.	外部評価に際して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
8.	外部評価委員の評価内容	
	一専攻科の現状一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
	一地域共同テクノセンターの現状一・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	一J A B E E 認定申請に向けての現状一・・・・・・・・・・・・・・	17
	一中期計画の策定一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	一その他一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
9.	木更津工業高等専門学校外部評価書様式・・・・・・・・・・・・・・	24

(出典 庶務課資料, 現地閲覧資料 23)

(分析結果とその根拠理由)

卒業生，修了生，大学，企業及び保護者などの関係者や外部評価委員から，卒業生や修了生が在学時に身につけた学力や資質・能力等に関して，意見を収集し，評価及び提言を頂いている。これらの各方面からのさまざまな意見等の結果によれば，おおむね高い評価を得ており，教育の成果や効果が上がっている。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

必要に応じてカリキュラムの見直しを行い，また，準学士課程の成績評価の合格基準を50点から60点へ変更することにより，学生が卒業時に身につける学力や資質・能力の評価基準について，外部の高等教育機関との整合性を高めた。選択科目「特別学修」を導入することにより，多くの学生が外部資格試験のみにとどまらず，技術イベント活動(ロボットコンテスト，プログラミングコンテスト)及びボランティア活動(社会福祉)等にも積極的に取り組むことができるようにした。更に，第3学年の通年必修科目「一般特別研究」では小人数の課題研究を実施し，最後に全員が一般特別研究論文としてまとめ，3月の発表会で会場等の制約の許す限り多くの学生に発表させ，プレゼンテーション能力の向上に役立てている。卒業研究や専攻科特別研究では日本機械学会，計測自動制御学会，精密工学会，軽金属学会，日本福祉工学会，日本カイロプラクティック徒手医学会，日本高専学会等で発表されるものもあり，各種コンテスト等で受賞する者もいる。準学士課程と専攻科課程の就職希望者の就職率はほぼ100%である。準学士課程の卒業時に，学生自身による学習・教育目標達成度評価のアンケートを実施し，全ての項目で「目標をほぼ(6割程度)達成できた」という良い結果を得た。専攻科課程の修了時に，学習・教育目標達成度に関する学生自身による自己評価点検のためのアンケートも実施した。卒業生，修了生，大学，企業及び保護者等の関係者や外部評価委員から，卒業生や修了生が在学時に身につけた学力や資質・能力等に関して，意見を収集し，評価及び提言を頂く機会を設けている。これらの結果によれば教育の成果や効果が上がっている。

(改善を要する点)

特になし。

(3) 基準 6 の自己評価の概要

準学士課程においては、教務委員会、修了認定会議及び卒業認定会議があり、専攻科課程においては、専攻科委員会と専攻科修了認定会議があり、学生が卒業(修了)時に身につける学力や資質・能力、養成する人材像等について、その達成状況を把握・評価するための適切な取組が行われている。高等専門学校における比較的長期にわたる学園生活の節目となるものとして、準学士課程に特別学修、一般特別研究、卒業研究があり、専攻科課程に専攻科特別研究がある。専攻科課程では、学生が立てた学習目標に対して指導教員が助言を与えるための学習助言シートを作成している。就職や進学後の進路先は本校の教育の目的に相応しいものであり、準学士課程と専攻科課程の就職希望者の就職率はほぼ100%である。また、これらの両課程において授業評価アンケートを実施し、教員のコメントを記載したアンケート集を作成している。準学士課程の卒業時に、学生自身による学習・教育目標達成度評価のアンケートを実施し、全ての項目で「目標をほぼ(6割程度)達成できた」という良い結果を得ている。専攻科課程の修了時にも、学習・教育目標達成度に関する学生自身による自己評価点検を実施している。卒業生、修了生、大学、企業及び保護者等の関係者や外部評価委員から意見を収集し、評価及び提言を頂いている。それらの結果によれば、教育の成果や効果が上がっている。